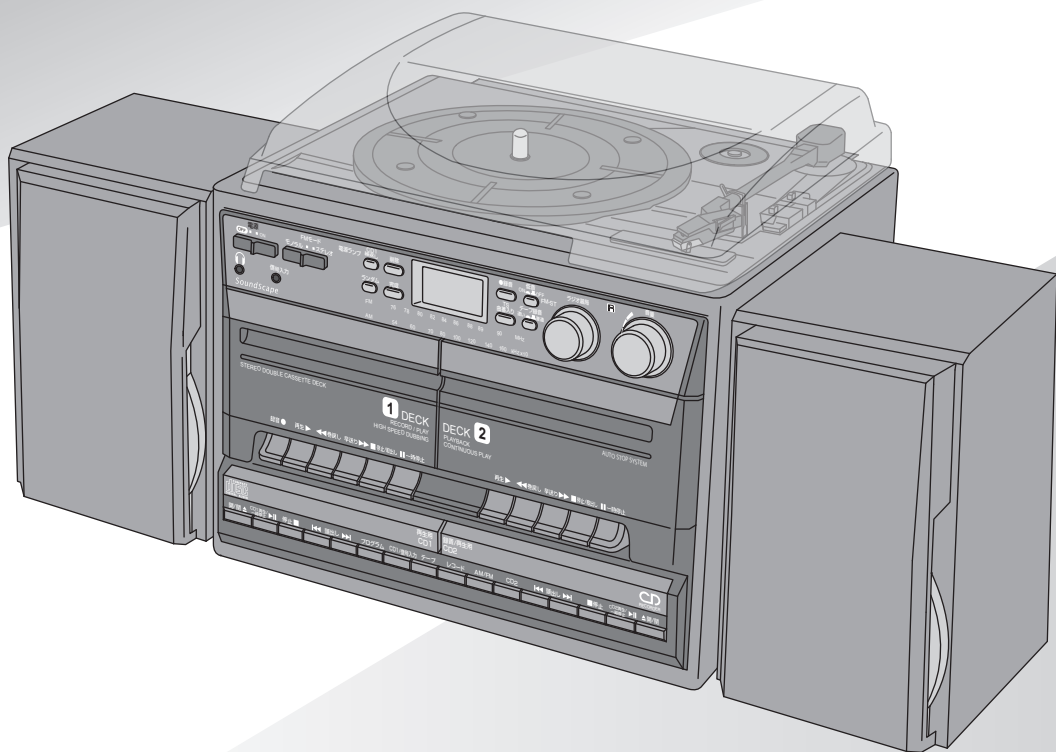


録音機能付マルチレコードプレーヤー

型番: SS-801

取扱説明書



このたびは弊社製品をお買上げいただき、まことにありがとうございます。事前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解した上でご使用ください。また、「安全上のご注意」「使用上のご注意」の内容を必ずお守りください。

※イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。

※製品の 외観・仕様は予告無く改変される場合があります。予めご了承ください。

※この製品は日本国内でのみご使用になれます。

保証書付

この取扱説明書の巻末に保証書がついています

本製品でできること

ラジオを聴く

レコードを聴く

カセットテープを聴く

各種メディアの再生

CDを聴く

外部音源を聴く

レコード、カセットテープ、CD、外部音源をCDに録音する

曲と曲の間にスペースを挿入する

完成処理（ファイナライズ）をする

CDに録音する

録音したトラックを削除する（CD-RWのみ）

完成処理を解除する（CD-RWのみ）

レコード、CD、ラジオ、外部音源からカセットテープに録音する

カセットテープからカセットテープに録音する

カセットテープに
録音する

使用方法の各ページの端に機能ごとにタブをつけています。ページの検索にご利用ください。

目 次

本製品でできること	2
1. 安全上のご注意	4
2. 使用上のご注意	5
3. 内容物の確認	8
4. 各部の名称と機能	9
5. セットアップ	13
5-1. 本体のセットアップ	13
5-2. リモコンのセットアップ（電池の入れ方）	13
5-3. 外部機器・ヘッドフォンを接続する	14
6. 使用方法その1（再生編）	15
6-1. ラジオを聴く	16
6-2. レコードを聴く	17
レコード盤の取り扱いについて	18
6-3. カセットテープを聴く	19
カセットテープ取り扱い上の注意	19
通常再生	20
連続再生（カセットテープデッキ2→カセットテープデッキ1）	21
6-4. CDを聴く	22
CD取り扱い上のご注意	22
CDデッキ1とCDデッキ2のちがい	22
通常再生（CDデッキ1での再生）	23
通常再生（CDデッキ2での再生）	24
リピート再生／ランダム再生／プログラム再生	25
6-5. 外部音源を再生する	26
7. 使用方法その2（録音編）	27
7-1. CDに録音する	27
レコード、カセットテープ、CD、外部音源をCDに録音する	28
曲と曲の間にスペースを挿入する	32
完成処理（ファイナライズ）をする	33
録音したトラックを削除する（CD-RWのみ）	34
完成処理を解除する（CD-RWのみ）	35
7-2. カセットテープに録音する	36
レコード、CD、ラジオ、外部音源からカセットテープに録音する	36
カセットテープからカセットテープに録音する	38
8. トラブルシューティング	39
9. メンテナンス	40
レコード針の交換について	41
10. 仕様表	42
11. アフターサービスについて	43
製品保証書	巻末

1 安全上のご注意

この項目では、人への危害や財産の損害を防ぐための注意事項を説明しています。本取扱説明書で使用する各マークには下記の意味があります。

 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険があります。	 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人的および物的損害が発生する危険があります。
---	---

■絵表示と絵表示の意味

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
--	--

警告



●指定された電源で使用する。

本製品は定められた家庭用電源(AC100V)でご使用ください。



●本製品を分解・改造しない。コードを切断・加工しない。

火災・感電・故障の原因になります。また、カバーを外して本体内部の部品などに触れると感電やけがの原因となります。故障の際はご自分で修理や点検をなさらず、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。



●水やその他液体、薬品をかけない。火中に投げ入れない。

火災・感電・故障・爆発の原因になります。本製品が濡れないようご注意くださいほか、湿気の高い環境での使用も避けてください。



●本製品内部に異物を入れない。

火災・感電・故障・爆発の原因になります。



●故障が疑われる場合はただちに電源プラグをコンセントから抜く。

本製品を落下させた場合、異物が内部に入ってしまった場合、水をかけてしまった場合、煙が出ている、異臭がするなど異常を感知した場合等、故障が疑われる場合はただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはサポートセンターへご連絡ください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



●本体とスピーカーは平らで安定した台の上に設置する。

落下するとけが、故障の原因となります。

⚠ 注意



●高温になる場所に本製品を設置しない。

直射日光が当たる場所や、エアコン、ストーブのそばなど、高温になる可能性のある場所に本製品を設置しないでください。変形・故障の原因となります。



●変形・劣化したレコード、CD、カセットテープを使用しない。

変形したレコードやCDを再生すると音質の劣化だけでなく故障の原因となります。また、劣化して伸びたテープを使用するとリールに巻き付くなどして故障の原因となります。各メディアは適切に保管、お手入れをしてご使用ください。



●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気のそばで使用しない。

工場内や屋外、加湿器や調理設備のそばなどでは使用しないでください。故障の原因となります。

2 使用上のご注意

3-1. 著作権についてのご注意



レコードやCD、ラジオ放送から録音したものは、個人で楽しむ以外の用途(他人へ配布、販売するなど)については著作権法上、権利者に無断では使用できません。十分にご注意ください。

購入したCD、レコード、カセットテープでも、営利目的で再生する(店内で流すなど)場合には権利者の許諾が必要となります。詳しくはJASRAC、もしくは各支部へおたずねください。

3-2. 録音可能なCDについてのご注意

本製品で録音可能なディスクは、音楽用(DIGITAL AUDIO)の「CD-R」、「CD-RW」です。

※書き込み可能なCDメディアには「データ用」と「音楽用」があります。本製品で使用するCD-R／CD-RWは「音楽用」をお求めください。

●CD-R(音楽用)

CD-Rは一回のみ録音可能なディスクです。録音された音楽の消去はできません。完成処理(ファイナライズ)後は追加録音ができません。

(完成処理前は容量の限度内で追加録音が可能です。)



●CD-RW(音楽用)

CD-RWでは音楽の録音／消去が繰り返し行えます(書き換え回数に限度があります。メディアや使用状態によって異なります)。完成処理後も書き換えが可能です。



完成処理(ファイナライズ)とは →実際の手順は33ページ参照

録音後に行う処理です。この処理を行うことによって、他のCDプレーヤーでも再生可能になります。(完成処理前は、本製品の「CD2」デッキでのみ再生可能です)

●CD-R/RWへの録音についてのご注意

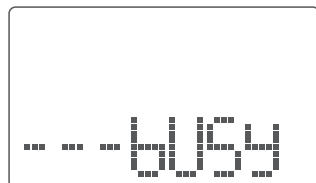
- CD-R/RWのメーカーによって、またメディアの状態によって、正しい手順で操作しても録音ができない場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 音楽CD形式での録音のみに対応します。MP3など、圧縮録音には対応しません。また、本製品ではMP3などの形式で録音されたCDは再生できません。

3-3. 操作に関するご注意

●ボタン操作についてのご注意

本製品では、各モードの切替時、CDの読み込み時など、処理に時間のかかる場合がございます。

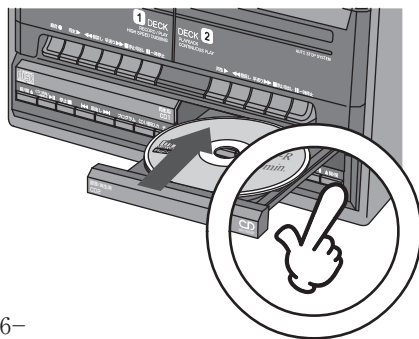
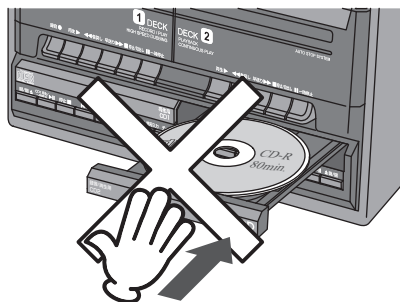
ディスプレイに右のような「busy」の文字が表示されている場合や、その他の処理中(CD読み込み中、CD-R/RWの完了処理など)に他のボタン操作を行いますと、処理が正しく完了せず、誤動作の原因となります。



●CDトレーの開閉に関するご注意

CDトレーの開閉は、必ずボタン操作で行ってください。CDトレーを直接手で押し込むとトレーは収納されますが、本製品でCDが認識されず、誤動作の原因となります。

その場合は、再度開閉ボタンを押してトレーを一度開けてから、収納してください。



●メディアのクリーニングや本製品のメンテナンスを適切に行ってください

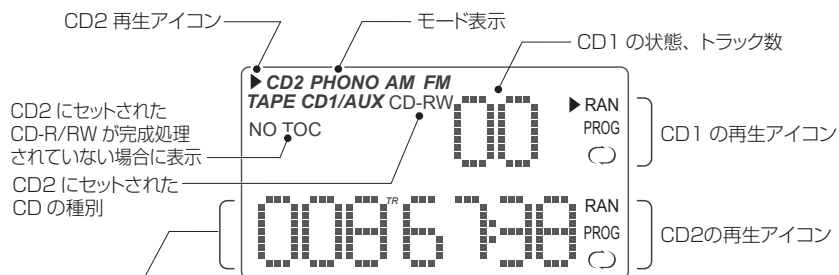
レコード、CD、カセットテープのメディアが汚れていたり、物理的に変形や破損していると音飛びが生じたり、正しく再生／録音されません。

特に録音時には、ノイズはそのまま録音されますので、操作前にメディアのクリーニングを行ってください。また、定期的にCDのレンズ清掃、テープデッキのヘッド清掃、レコード針の交換などメンテナンスを行ってください(41ページ参照)。

テープ、レコードは適切な状態でもアナログ音源特有のノイズが入る場合がございます。あらかじめご了承ください。

参考：LED ディスプレイの表示について

LEDディスプレイには下記のような意味があります。



CD2 の状態・トラック数／経過時間、またはシステムの状態の表示（以下表示の一例）

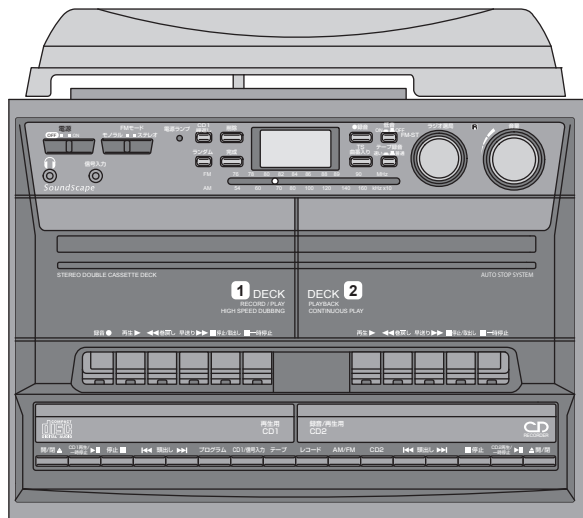
表示の例	意 味
---busy	システムが処理中です。
err	システムエラー（コンセントを抜いて
- -	24時間放電を行ってください。）
OPEN	CD デッキ 2 トレーが開いています
no disc	CD デッキ 2 にディスクがありません
Fin-d	完成処理を行います

3 内容物の確認

パッケージには本体のほかに、各付属品が同梱されています。

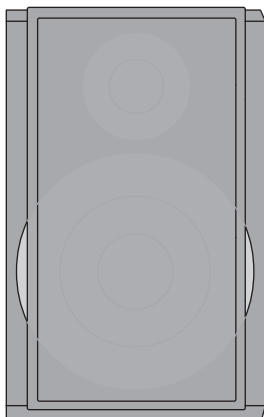
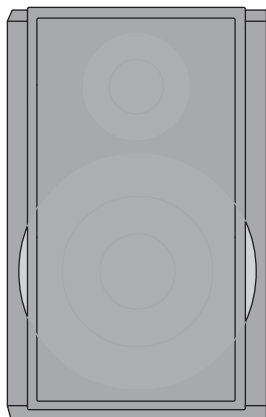
本体や付属品を箱から取り出す際には、破損しないよう十分ご注意ください。

※はじめから破損していたり付属品が不足している場合には、ご購入店までお問い合わせください。



●本体×1

●リモコン×1

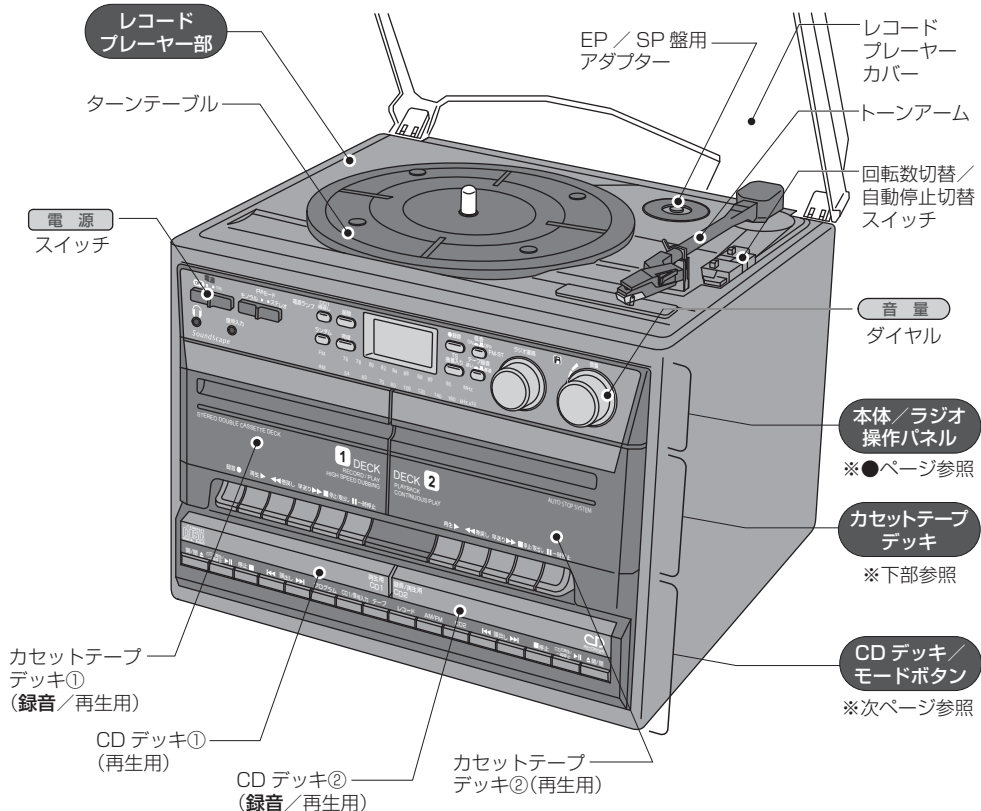


●スピーカー×2（背面にケーブル付属）

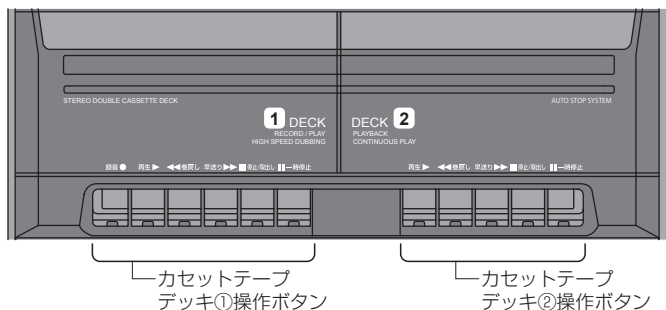
●取扱説明書兼製品保証書（本書）

4 各部の名称と機能

●本体全体



●カセットテープデッキ詳細



カセットテープデッキは2つあり、録音は左側の「1」デッキで行います。
文中では各ボタンを右のアイコンで表示します。



●CDデッキ／モードボタン詳細

CDデッキは二つあり、左側の「CD1」が再生専用、「CD2」が録音再生兼用になります。

CDデッキ下の操作ボタンは、CD各デッキの操作ボタンのほか、各モードの切替ボタンがあります。

※各音源を再生する前に、モード切替ボタンを押す必要があります。

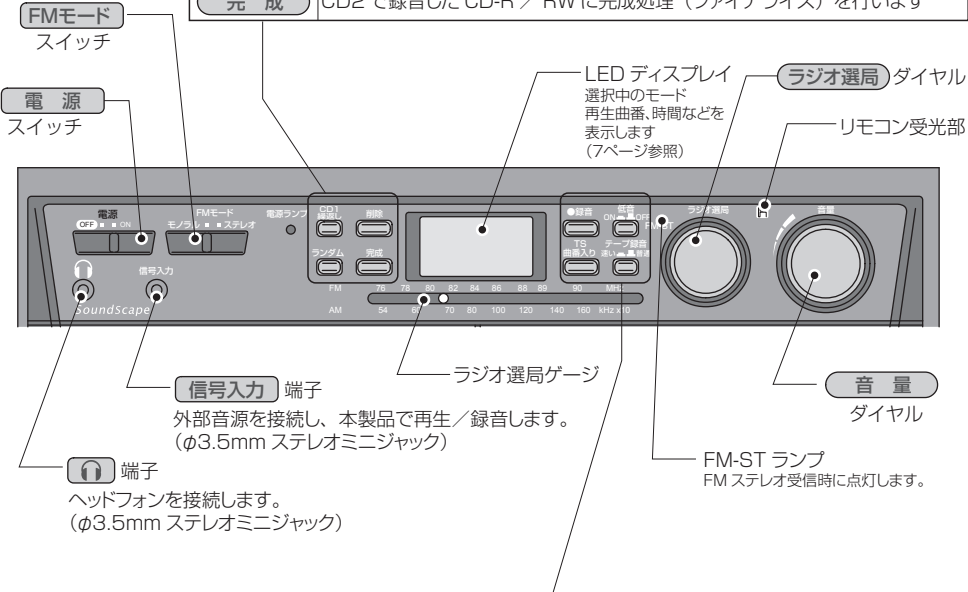


CDデッキ①操作ボタン	▲ 開/閉 CD1	トレイを開閉します。 ※トレイを閉じる時は手で押し込みます、必ずこのボタンで行ってください。
	▶▶ 再生/一時停止 CD1	再生を開始します。再生中に押すと一時停止し、もう一度押すと再生を再開します。
	▶▶▶ 頭出し CD1	再生中に押すと次の曲を再生します。再生中に長押しすると早送りします。停止中に押すと再生する曲を選曲します。
	◀◀ 頭出し CD1	再生中に押すと、曲の先頭から再生します。続けてもう一度押すと前の曲を再生します。再生中に長押しすると早戻しします。停止中に押すと再生する曲を選曲できます。
	■ 停止 CD1	再生を停止します。
	プログラム CD1	CD 内の曲順を組み替えて再生します。(25 ページ参照) ※このボタンは CD1 用です。CD2 でプログラム再生を行うには、リモコンで操作します。
	※本体上部のパネルに CD1 繰返し (ランダム) ボタンがあり、このボタンで CD デッキ①のリPEAT再生、ランダム再生をすることができます。	
モード切替ボタン	CD1/信号入力	CD1 (22 ページ) の操作、および外部入力音源の再生モード (26 ページ) に切り替えます。
	テープ	カセットテープの再生モード (19 ページ) に切り替えます。
	レコード	レコードプレーヤーの再生モード (17 ページ) に切り替えます。
	AM/FM	ラジオの再生モード (16 ページ) に切り替えます。AM/FM のバンド切替を行います。
	CD2	CD2 (22、27 ページ) の操作モードに切り替えます。 ※CD2 の録音ボタンは上部パネルにあります。詳しくは各録音操作のページを参照してください。
※CDトレイの開閉は、CD1 / CD2 モードへ切替を行わなければ操作できません。		
CDデッキ②操作ボタン	▲ 開/閉 CD2	CD デッキ①の操作ボタンとほぼ同じ動作ですが、下記の点が異なります。
	▶▶ 再生/一時停止 CD2	○再生中 ◀◀ 頭出し ボタンを押すと、曲の先頭には戻らず、前の曲が再生されます。
	▶▶▶ 頭出し CD2	○ランダム再生、リピート再生、プログラム再生はリモコン (12 ページ) のみボタンがあります。
	◀◀ 頭出し CD2	※CD デッキ②では、完成処理前の CD-R / RW を再生することができます。
	■ 停止 CD2	

●本体／ラジオ操作パネル詳細

本体上部には、電源ボタン、音量ダイヤル、ラジオの選局のほか、CDへの録音操作のボタンが配置されています。

CD1繰返し	CD1 のリピート再生を切り替えます。
ランダム	CD1 をランダム再生します。
削除	CD2 に録音した曲を削除します。※CD-RW、および完成処理前の CD-R のみ
完成	CD2 で録音した CD-R / RW に完成処理（ファイナライズ）を行います



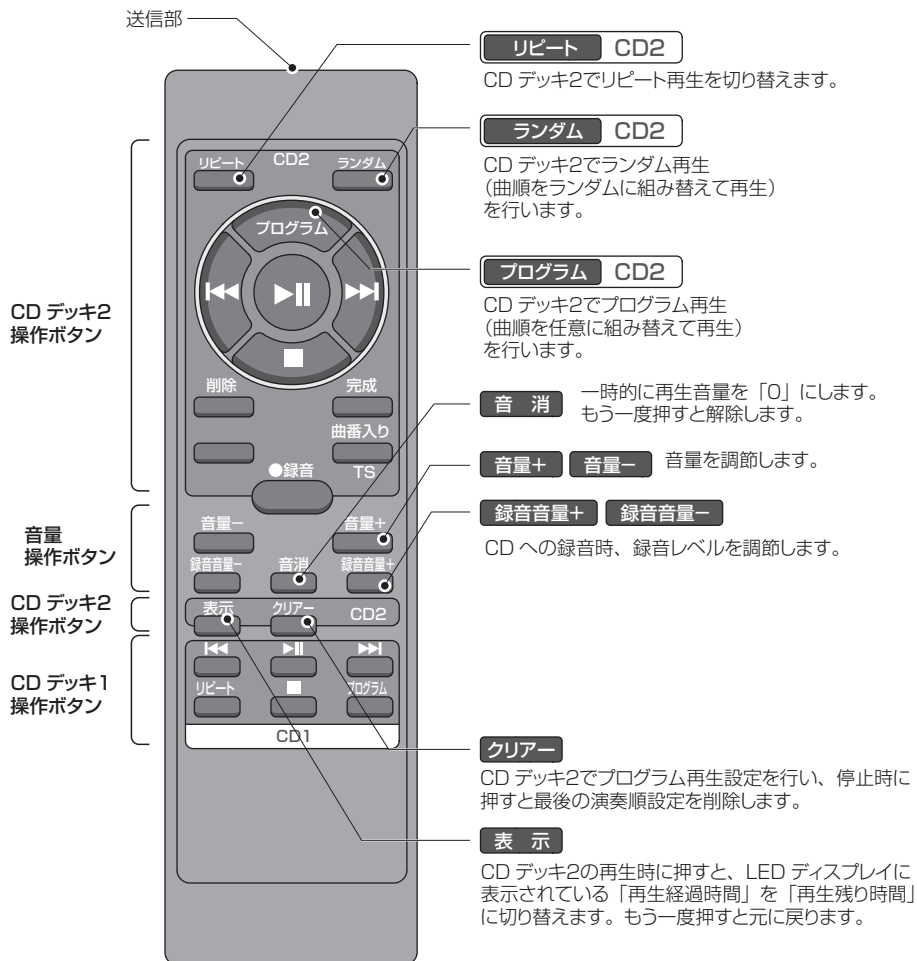
●録音	CD2の録音をスタンバイします。(27 ページ参照)
TS曲番入り	CD2 録音中、曲と曲の分割点を挿入します。
低音	低音を強調します。
テープ録音	カセットテープ同士の録音スピードを切り替えます。

●リモコン

リモコンでは、CDデッキ1およびCDデッキ2の操作が行えます。

※各ボタンの機能は、本体の同名のボタンと同一です。リモコンのみにあるボタンについて下記に解説します。

※モードの切替はリモコンでは行えません。本体で行います。



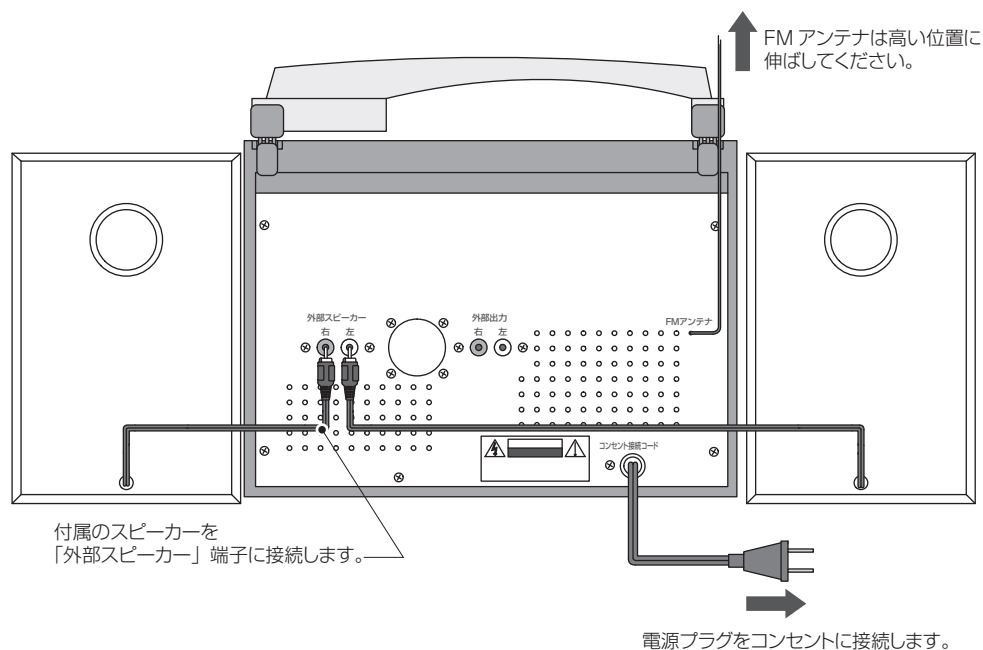
5 セットアップ

5-1. 本体のセットアップ

安定した平らなラックや台の上に本体とスピーカーを設置します。

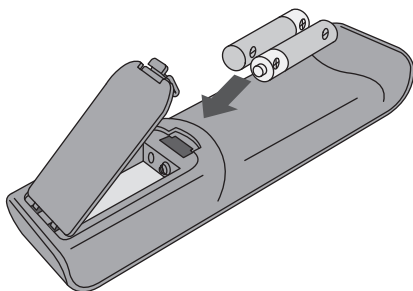
スピーカーは左右の違いはありません。正面から向かって右側のスピーカーを、本体背面の「外部スピーカー」の「右」端子、もう一方を「左」端子に接続します。

※付属スピーカーを「外部出力」端子に接続しても音が出ません。ご注意ください。



5-2. リモコンのセットアップ

リモコン背面の電池ボックスに、単4型アルカリ乾電池2本を、指定の向きに合わせてセットしてください。



5-3. 外部機器・ヘッドフォンを接続する

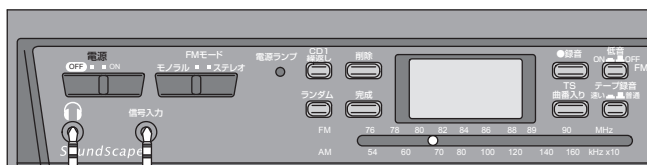
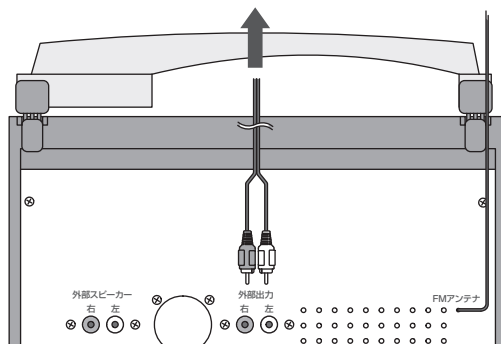
●外部機器で本製品の音声を再生する

本製品の音声を外部機器(アンプ)で再生する場合、本体背面の「外部出力」端子に接続します。(右図参照)

外部機器を接続する場合、出力が8W未満のものをお選びください。8Wを超える場合、本製品や外部機器がショートする恐れがあります。ご注意ください。

※「外部出力」端子に付属のスピーカーを接続しても音声は再生されません。

外部機器(アンプ等)に接続する場合、この端子に接続します。



●ヘッドフォンなどを使用する場合

ヘッドフォンやイヤホンを接続する場合、本体上部にある  端子に接続します。ヘッドフォン接続中はスピーカーからは音声は再生されません。

φ3.5mmミニプラグでインピーダンス8～32Ωのヘッドフォンをご用意ください。

●外部機器の音声を本製品で再生／録音する場合

スマートフォンやICレコーダーなど、外部機器からの音声を本製品で再生する場合は本体上部にある  端子に接続します。

 端子にプラグが接続されていると、AUXモードが優先され、CD1の操作ができません。ご注意ください。

外部機器の音声を再生するには26ページを参照してください。

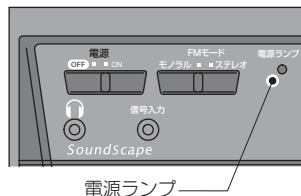
※接続する外部機器は、出力が5W未満のものをお選びください。5Wを超える場合、本製品や外部機器がショートする恐れがあります。

6 使用方法その1(再生編)

●電源の ON/OFF について

本体上部の **電源** スイッチを切り替えて電源を ON / OFF します。(リモコンでは電源を操作できません)。

電源が ON になると電源ランプが赤く点灯し、FM ラジオモードで起動します。



●各モードの切替について

本製品では、ラジオ (AM/FM)、レコード、カセットテープ、CD (デッキ1) / 信号入力、CD デッキ2) の各モードがあります。それぞれの音声を再生したり、CD トレーの開閉を行う前にそれぞれのモード切替ボタンを押してモードを切り替える必要があります。(電源 ON 時は常に FM ラジオモードで起動します。)



モード切替ボタンを押した後、しばらく処理中となり画面に「busy」と表示される場合があります。その場合は他のボタン操作はせず、「busy」表示が消えるのを待ってください。「busy」表示中にボタン操作を行うと、誤動作の原因となります。

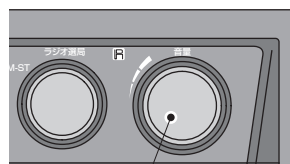
---busy

●音量について

音量は、本体上部の **音量** ダイアル、またはリモコンの **音量+** **音量-** ボタンで行います。

音量の調節を行うと、いずれのモードであっても LED ディスプレイに現在の音量が db で表示されます。調節できる範囲は 0 ~ 31 db です。

※電源 ON 時は常に音量 16db で起動します。



音量
ダイヤル

6-1. ラジオを聴く

あらかじめ、13 ページを参照して本体のセットアップを行い、FM アンテナを適切な位置に伸ばしてください。

電源が入っていない状態



1 電源を ON にします。(15 ページ参照)

FM ラジオモードで起動し、スピーカーから音声が再生されます。

電源が入っていてラジオ以外のモードの状態



1 AM/FM ボタンを押します。

FM ラジオモードに切り替わり、スピーカーから音声が再生されます。

2 AM / FM のバンドを切り替えるには AM/FM ボタンを押します。

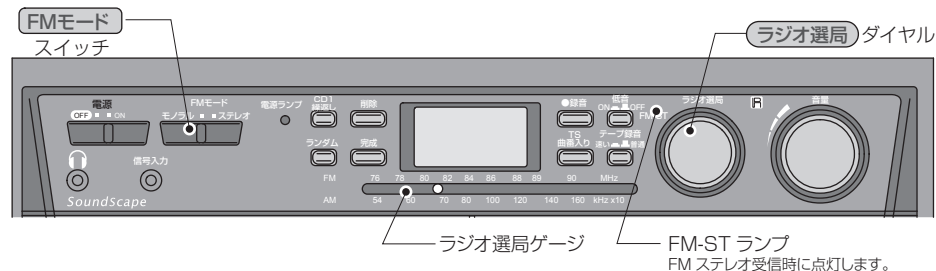
選択中のバンドは LED ディスプレイに表示されます。
適切な音量に調節してください。(15 ページ参照)



3 ラジオ選局 ダイヤルで選局します。

選局ゲージを目安に周波数を調整してください。

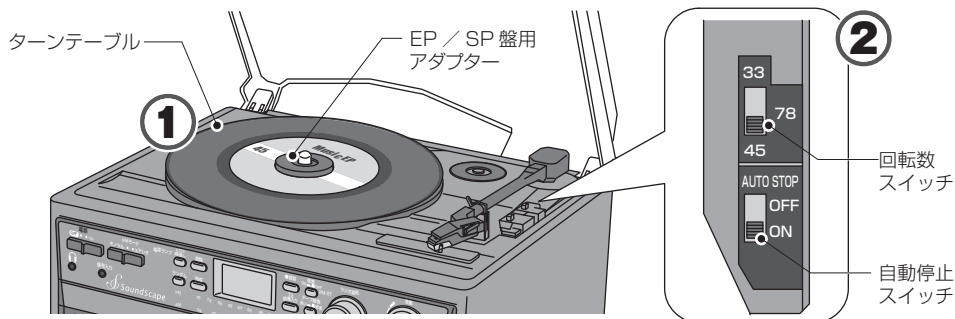
FM ステレオ放送を受信したい場合は、**FMモード** スイッチを切り替えます。FM ステレオ放送受信時は FM-ST ランプが点灯します。



※AM アンテナは本体に内蔵しています。FM / AM とともに、設置環境やお住まいの地域、環境によってはうまく受信できない場合がございます。ご了承ください。

※FM 電波が弱い場合、**FMモード** スイッチを「ステレオ」にするとノイズが大きくなる場合があります。その場合、「モノラル」に切り替えるとノイズが軽減される場合があります。

6-2. レコードを聴く



1 レコード盤をターンテーブルにのせます。

EP 盤、ドーナツ盤を載せる場合はアダプターを使います。(上図①参照)

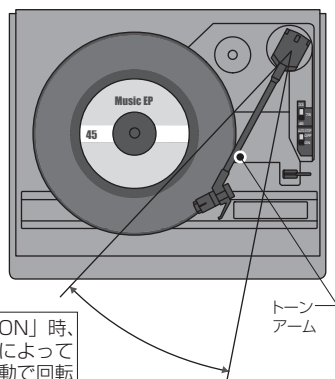
※レコードクリーナー(別売り)で、レコード盤をクリーニングしてください。(次ページ参照)

2 回転数・自動停止スイッチを適切な位置に合わせます。

通常、EP 盤は 45 回転、LP 盤は 33 回転、SP 盤は 78 回転に合わせます。(お手持ちのレコード盤の説明書を参照ください。)

自動停止スイッチを「ON」にすると、トーンアームの位置によって自動的にターンテーブルが回転／停止します。通常は「ON」で問題ありませんが、一部の EP 盤や SP 盤では、楽曲の途中で回転が停止してしまう場合があります。その場合は自動停止スイッチを「OFF」にしてください。

(上図②、および右図参照)



3 電源を ON にし、**レコード** ボタンを押してレコードモードにします。

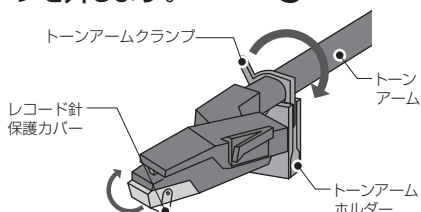
LED ディスプレイに「PHONO」と表示されているのを確認してください。



4 レコード針保護カバー、トーンアームクランプを外します。

レコード針を傷つけないようご注意ください。

※レコード針の交換方法→41 ページ参照



5 トーンアームを動かし、レコード盤に針をのせます。

自動停止スイッチが ON の場合、自動的にターンテーブルが回転します。「OFF」の場合はレコードモードになった時点で回転が始まります。

音楽が再生されますので、音量を適切に調整してください。(15 ページ参照)

6 鑑賞後、トーンアームをホルダーに移動させ、保護カバーとクランプを戻します。

針をのせるとき、外すときはレコード盤を傷つけないよう、ゆっくり作業を行ってください。レコード盤はターンテーブルにのせたままにせず、ジャケットに収納して保管してください。

※レコード針の交換の目安は約 100 時間（LP レコード 100 枚）です。ただし、経年数や使用環境にも左右されます。劣化した針のままレコードを再生すると、レコードを傷つける原因になりますので早めに交換を行ってください。(41 ページ参照)

※レコード盤は再生前に必ずクリーニングを行ってください。ほこりや汚れがついたままレコードを再生すると、音飛びやノイズが発生するほか、針を痛める原因になります。



レコード盤の取り扱いについて

●レコード盤の持ち方

レコード盤の表面はデリケートです。指や手のひらが表面に触れないよう、ジャケットから取り出す際やターンテーブルにのせる際にはご注意ください。

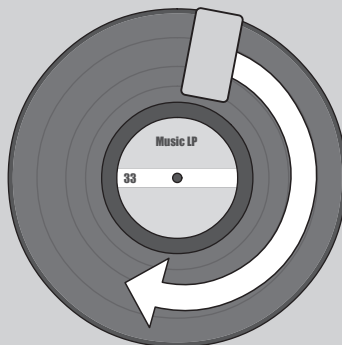
一般的に、LP盤は両手のひらで外側からはさむように、EP版は中心と外側を親指と人差し指ではさむようにして持ちます。(右図参照)



●レコード盤のお手入れ

表面についたほこりや指紋などの汚れを取り除くには、クリーナー（別売）等を使用して、右図のように円周方向にふき取ります。

CD のように放射状にはふかないでください。



6-3. カセットテープを聴く



カセットテープ取り扱い上のご注意

●再生／録音できるテープの種類

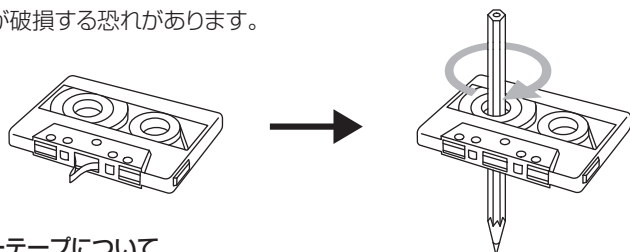
本製品で再生／録音できるテープの種類は右表のとおりです。

	ノーマル(TypeI)	ハイポジション (TypeII)	メタル(TypeIV)
再 生	○	○	×
録 音	○	×	×

※ご注意：60 分以下のテープをご使用ください。60 分を超えるテープは薄く、変形しやすく、巻き込みなどの原因となる場合があります。万一、ご使用になり、本体に不具合が発生した際の修理は、有償となります。（テープの修理・修復等は一切できません。）

●カセットテープのたるみを取る

再生前にカセットテープがたるんでいる場合は鉛筆などを用いて、図のようにたるみをとってください。たるんだままセットし再生させると、テープがローラーに巻き込まれてテープや本体が破損する恐れがあります。



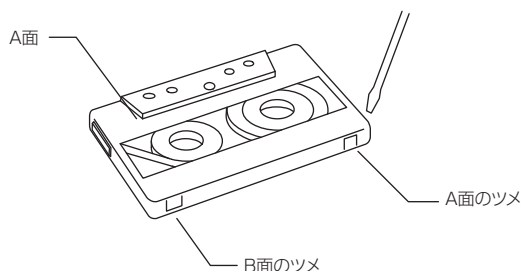
●リーダーテープについて

カセットテープの両端数秒分はリーダーテープ（透明や白など）になっており、この部分には録音できません。録音する場合はあらかじめこの部分を巻き取ってください。

●録音したテープの保護

録音を保存しておきたい場合は、カセットテープの底面（テープ露出部の反対側）にあるツメを折っておくと、上書き録音を防止することができます。（ツメを折っておくと録音ボタンが押せません。無理に押すと故障の原因となりますのでご注意ください。）

また、もう一度録音したい場合はツメを折った部分をセロハンテープなどでふさいでください。



通常再生

1 電源を ON にし、**テープ** ボタンを押してカセットテープモードにします。

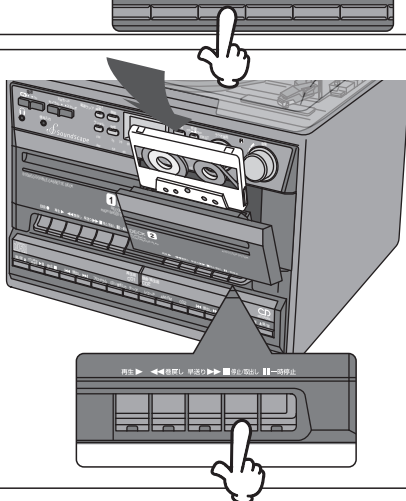
LED ディスプレイに「TAPE」と表示されているのを確認してください。



2 カセットテープをセットします。

デッキ 1、デッキ 2 どちらでも再生できますが、一本のカセットテープのみを再生する場合は誤録音をふせぐため、「デッキ 2」で再生することをお勧めします。（ここではデッキ 2 での再生手順を説明します。デッキ 1 でも同様の操作で再生が可能です。）

停止/取出し テープ2 ボタンを押してカバーを開け、再生したい面を手前に向け、テープが露出している側を下にしてセットします。



3 再生します。

再生 ▶ テープ2 ボタンを押してカセットテープを再生します。

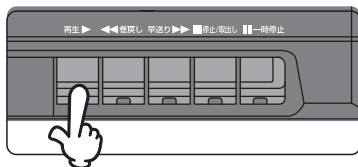
音楽が再生されますので、音量を適切に調整してください。（15 ページ参照）

◀◀ 巻戻し テープ2 ▶▶ 早送り テープ2 ボタンで早送り、巻き戻しできます。

再生中、**一時停止 〳 テープ2** ボタンで再生が一時停止されます。もう一度 **一時停止 〳 テープ2** ボタンを押すと再生が再開されます。

再生を停止するには **停止/取出し テープ2** ボタンを押します。 **再生 ▶ テープ2** ボタンが解除され、再生が停止します。

また、再生中テープが終端まで巻き取られると自動的に **再生 ▶ テープ2** ボタンが解除され、再生が停止します。



※ **再生 ▶** ボタンと **◀◀ 巻戻し ▶▶ 早送り** ボタンは同時に押さないでください。故障の原因となります。

※巻き戻し／早送りでテープを終端まで巻き取った場合、自動的に **◀◀ 巻戻し ▶▶ 早送り** ボタンは解除されません。 **停止/取出し** ボタンを押して手動で解除してください。

※カセットテープはセットする前に、必ずテープのたるみをとってください。（19 ページ参照）

※定期的にヘッドやローラーをクリーニングすることをお勧めします。

※カセットテープデッキ 2 から 1 へ連続して再生することができます。次ページを参照してください。

連続再生(カセットテープデッキ2→カセットテープデッキ1)

1 電源を ON にし、**テープ** ボタンを押してカセットテープモードにします。

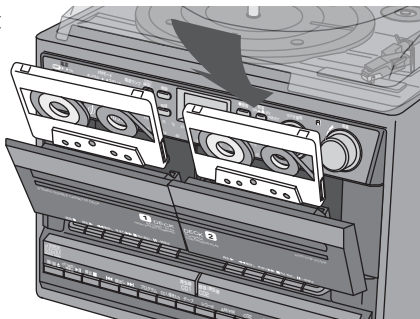
LED ディスプレイに「TAPE」と表示されているのを確認してください。



2 カセットテープを両方のデッキにセットします。

両デッキの **停止/取出し** ボタンでカバーを開け、最初に再生したいカセットテープを「デッキ2」に、次に再生したいカセットテープを「デッキ1」にセットします。

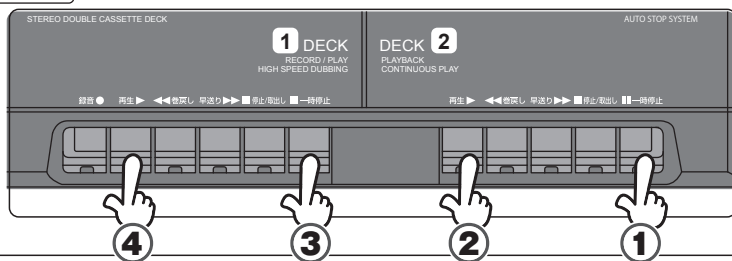
カセットテープは、再生したい面を手前に向け、テープが露出している側を下にしてセットします。



カセットテープを聴く

3 ボタンを操作してスタンバイします。

一時停止 テープ2 ボタン、**再生** テープ2 ボタン、**一時停止** テープ1 ボタン、**再生** テープ1 ボタンの順でボタンを操作します。



4 **一時停止** テープ2 ボタンを押して再生を開始します。

一時停止 テープ2 ボタンを押して「デッキ2」の一時停止を解除します。

再生が開始されます。「デッキ2」のテープが終端まで再生されると、自動的に「デッキ1」の再生が始まります。

適切な音量に調節してください。(15 ページ参照)

※カセットテープの操作は音量の操作を除き、リモコンでは行えません。

※カセットテープ同士のダビングについては「使用方法(録音編)」(38 ページ)を参照してください。

6-4. CDを聴く



CD取り扱い上のご注意

●本製品で再生可能な CD

本製品では、右のロゴマークのある音楽 CD が再生可能です。また、CD-R / RW については音楽 CD 形式で書き込まれたものが再生可能です。

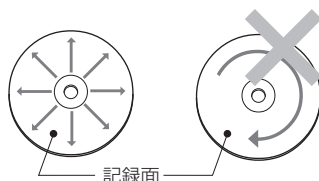
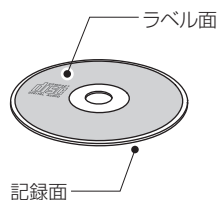
※MP3 など、音楽ファイルが収録された CD は再生できません。



●CD の取り扱いについて

CD の記録面（印字されていない方の面）に汚れや傷があると正常に再生できなくなります。CD の取扱いは十分にご注意ください。記録面の汚れは柔らかい布、または専用のクリーニングキットを用いて拭き取ってください。拭き取る際は必ず CD の中心から外側へ向かって放射状に拭き取ります。

また、ラベル面に大きな傷がある場合なども正常に再生できなくなりますので、取り扱いにはご注意ください。鑑賞後の CD は必ず CD ケースに収納の上保管してください。



CD デッキ1と CD デッキ2のちがい

CD デッキ 1 は再生専用、CD デッキ 2 は録音再生兼用となります。CD デッキ 2 でも再生は可能ですが、トレイにセットした時にディスクの種別（通常の音楽 CD か、CD-R か CD-RW か）を判別する時間がかかるため、読み込み処理に時間がかかる場合があります。（「busy」表示が出ている間は他のボタン操作をしないでください。6、15 ページ参照）

通常の音楽 CD の鑑賞は「CD デッキ 1」で行うことを推奨します。

再生操作は基本的に同一ですが、画面表示、使用するボタンの場所が異なります。また、CD デッキ 2 では、完成処理（ファイナライズ、6 ページ参照）をしていない CD-R、CD-RW の再生が可能です。

●モードの切り替えについて

それぞれのデッキを使用する場合、操作の前に CD デッキ 1 を使用する場合は **CD1/信号入力** ボタン、CD デッキ 2 を使用する場合は **CD2** ボタンを押してください。

両方のデッキを同時に操作することはできません。（CD ダビング時を除く。28 ページ参照）

通常再生(CD デッキ1での再生)

1 電源を ON にし、**CD1/信号入力** ボタンを押して CD1/AUX モードにします。

LED ディスプレイに「CD1/AUX」と表示されます。

※「busy」表示が出た場合は表示が消えるまで他のボタン操作はしないでください。(15 ページ参照)

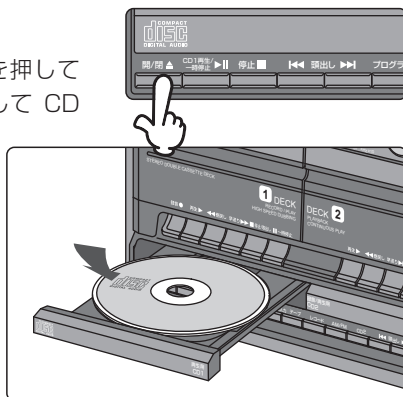


2 トレーに CD をセットします。

▲ 開/閉 CD1 ボタン (左端のボタンです) を押してトレイを開け、ラベル面 (前ページ参照) を上にして CD をセットします。

トレイは手で押し込みます、**▲ 開/閉 CD1** ボタンを押して閉じてください。(6 ページ参照)

※ **信号入力** 端子にプラグが接続されていると AUX モードになり、CD1 を操作できません。



3 再生します。

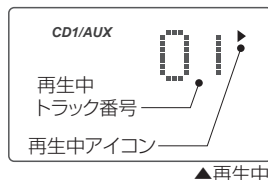
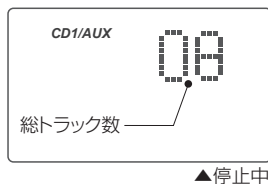
CD が読み込まれ、収録トラック数が LED ディスプレイに表示されます。

▶▶ 再生/一時停止 CD1 ボタンを押すと最初のトラックから再生されます。再生中は「▶▶」のアイコンが表示されます。音楽が再生されますので、音量を適切に調整してください。(15 ページ参照)

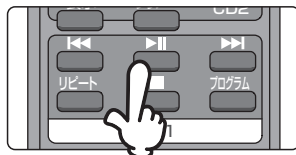
再生中、または停止中に **◀◀ 頭出し CD1** **▶▶ 頭出し CD1** ボタンを押すと再生する曲を選曲できます。

再生中、**▶▶ 再生/一時停止 CD1** ボタンを押すと再生が一時停止されます。もう一度押すと解除されます。

再生を停止するには **■ 停止 CD1** ボタンを押します。



※CDの再生操作は本体のボタンの他、リモコンでも行えます。



通常再生(CD デッキ 2 での再生)

1 電源を ON にし、**CD2** ボタンを押して CD2 にします。

LED ディスプレイに「busy」表示が出たあと「no disc」と表示されます (CD が未セットの場合)。

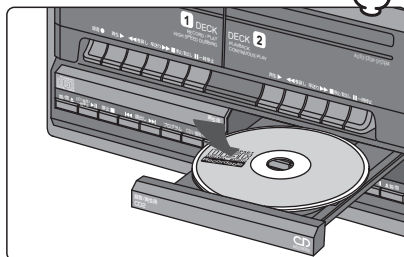
※「busy」表示が消えるまで他のボタン操作はしないでください。(15 ページ参照)



2 トレーに CD をセットします。

▲ 開/閉 CD2 ボタン (右端のボタンです) を押してトレイを開け、ラベル面 (前ページ参照) を上にして CD をセットします。

トレイは手で押し込みます、**▲ 開/閉 CD2** ボタンを押して閉じてください。(6 ページ参照)



3 再生します。

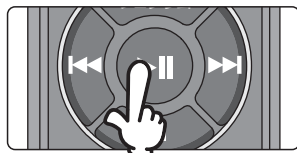
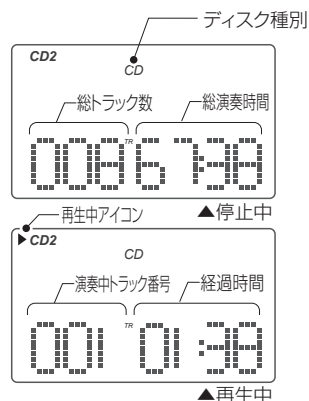
CD が読み込まれ、CD 種別と収録トラック数と総演奏時間が LED ディスプレイに表示されます。

▶▶ 再生/一時停止 CD2 ボタンを押すと最初のトラックから再生されます。再生中は「▶」のアイコンが表示されます。音楽が再生されますので、音量を適切に調整してください。(15 ページ参照)

再生中、または停止中に **◀◀ 頭出し CD2** **▶▶ 頭出し CD2** ボタンを押すと再生する曲を選曲できます。

再生中、**▶▶ 再生/一時停止 CD2** ボタンを押すと再生が一時停止されます。もう一度押すと解除されます。

再生を停止するには **■ 停止 CD2** ボタンを押します。



※CD の再生操作は本体のボタンの他、リモコンでも行えます。

リピート再生／プログラム再生／ランダム再生

●リピート再生

CD 内の全曲、または 1 曲のみを繰り返し再生することができます。

停止中、または再生中に「リピート」ボタンを押します。

CD 1 モードの時は本体上部の **CD1 繰り返し** ボタン、またはリモコンの CD 1 の **リピート** ボタンを押します。

CD 2 モードの時はリモコンの CD 2 の **リピート** ボタンを押します。

ボタンを押すごとに、「選曲中の 1 曲のみ」→「全曲」→「解除」が切り替わります。リピートモードの状態は LED ディスプレイにアイコン表示されます。(7 ページ参照)

●プログラム再生

再生順序をお好みに組み替えて再生できます。(最大 32 曲)

①停止中に「プログラム」ボタンを押します。

CD 1 の場合は本体下部、またはリモコンの CD 1 の **プログラム** ボタンを押します。

CD 2 の場合はリモコンの CD 2 の **プログラム** ボタンを押します。

②LED ディスプレイに「PROG」アイコンが表示されます。

③ **⏮ 頭出し** **⏭ 頭出し** ボタンで再生したいトラックを選択し、**プログラム** ボタンを押して登録させます。この操作を繰り返します。

④曲順を登録し終えたら、**▶⏮ 再生一時停止** ボタンを押して再生を開始します。

⑤プログラム再生を終了するには、**■ 停止** ボタンを CD 1 の場合は 1 回、CD 2 の場合は 2 回押します。「PROG」アイコンが消えたことを確認してください。

●ランダム再生

再生順序をランダムにシャッフルして再生することができます。

①停止中に「ランダム」ボタンを押します。

CD 1 の場合は本体上部、またはリモコンの CD 1 の **ランダム** ボタンを押します。曲順がシャッフルされて再生が開始されます。

CD 2 の場合はリモコンの CD 2 の **ランダム** ボタンを押して、その後 **▶⏮ 再生一時停止** ボタンを押します。曲順がシャッフルされて再生が開始されます。

CD 1、CD 2 ともに LED ディスプレイに「RAN」のアイコンが表示されます。

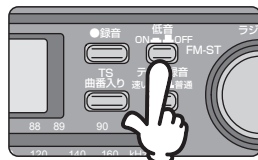
②ランダム再生を終了するには **■ 停止** ボタンを押します。「RAN」のアイコンが消えたことを確認してください。

低音強調

低音を強調して音楽を楽しみたい場合、本体上部の「低音」スイッチを押して ON にしてください。

解除するにはもう一度押して OFF にします。

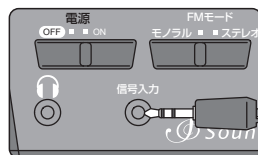
※低音強調はすべての再生モードで有効です。



6-5. 外部音源を聴く

1 信号入力 端子に外部機器を接続します。

14 ページを参照して、外部機器を本製品に接続します。



2 電源を ON にし、CD1/信号入力 ボタンを押して CD1/AUX モードにします。

LED ディスプレイに「CD1/AUX」と表示されます。

※「busy」表示が出た場合は表示が消えるまで他のボタン操作はしないでください。(15 ページ参照)



3 外部機器を操作して再生を開始します。

信号入力 端子にプラグが接続されていると、自動的に信号入力 (AUX) モードになります。(CD の操作はできません)

外部機器を操作して再生を開始してください。

音量の調節は本製品側 (15 ページ参照)、または外部機器側で行います。
本製品側では、低音強調 (前ページ参照) も行えます。

●CD1 モードと (信号入力) AUX モードの LED ディスプレイ表示の違いについて

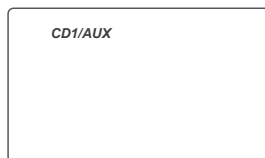
二つのモードは切り替えボタンが同一で、モード表示も「CD1/AUX」で同一です。

CD1 モードが有効な時は、LED ディスプレイ上段に CD のトラック数 (または CD がセットされていないことを示す「No」) が表示されています。

信号入力 (AUX) モードが有効な時は、その表示がありません。



▲CD1 モード時



▲AUX モード時

7 使用方法その2(録音編)

7-1. CDに録音する

●録音可能 CD について →5 ページ参照

本製品では、レコード、CD(デッキ1)、カセットテープ、外部機器からの音源を CD(デッキ2)にセットされた CD-R/RW に録音することができます。

録音を開始する前に「使用上のご注意」をよくお読みになり、ご理解になった上で本製品を操作してください。また、録音元の音源の操作については、「6. 使用方法その1(再生編)」の説明をお読みください。

※ラジオは直接CDに録音できません。ラジオ放送をCDに録音したい場合、一度カセットテープに録音してからCDに録音するか、他のラジオ受信機を外部機器として接続してCDに録音する方法があります。

次ページから詳細な手順について解説いたしますので、録音操作をする前によくお読みになり、手順を理解してから録音操作を行ってください。

正しい手順で行っても、メディアの状態によっては正しく録音できない場合があります。また、再生するレコードや音楽CD、カセットテープの状態によって発生したノイズはそのまま録音されます。CD-Rはその性質上、一度録音されたデータは削除できません。録音の結果について、いかなる事由によりましても弊社では補償、修理を行えませんのであらかじめご了承ください。

レコード、カセットテープ、CD、外部音源をCDに録音する

1 電源を ON にし、**CD2** ボタンを押して CD2モードにします。

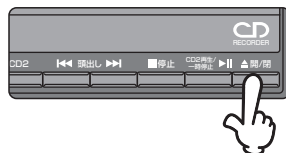
LED ディスプレイに「busy」表示が出たあと「no disc」と表示されます（CD が未セットの場合）。

※「busy」表示が消えるまで他のボタン操作はしないでください。（15 ページ参照）

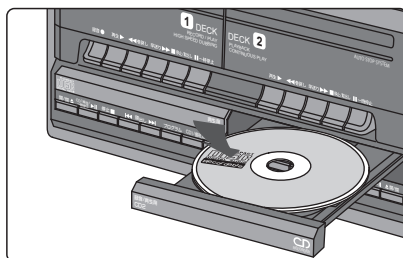


2 CD をトレイにセットします。

▲ 開/閉 **CD2** ボタン（右端のボタンです）を押してトレイを開け、ラベル面を上にして CD-R または CD-RW をセットします。



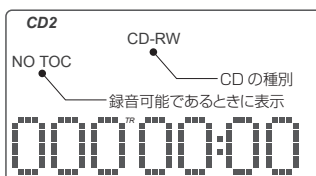
トレイは手で押し込みます、ボタンを押して閉じてください。（6 ページ参照）



3 LED ディスプレイの表示を確認します。

CD の種別が「CD-R」もしくは「CD-RW」と表示されているか確認します。

「NO TOC」の文字は、セットされた CD-R/RW が完成処理されていない「録音可能状態」である時に表示されます。「NO TOC」の文字が表示されない場合、録音できません。（CD-RW は完成処理を解除できます。35 ページ参照）



※空の CD-R/RW の場合

何も録音されていない CD-R/RW の場合は「000 00:00」と表示されます。すでに録音されている場合は、録音済みのトラック数と総録音時間が表示されます。



※すでに録音データのある CD-R/RW の場合

4 録音元の音源のモードに切り替え、再生する準備をします。

レコードの場合

レコード ボタンを押します。

17ページを参照し、レコードをターンテーブルにのせ、レコード再生に必要な準備をします。

カセットテープの場合

テープ ボタンを押します。

19 ページを参照し、カセットテープをセットして再生に必要な準備をします。

CDの場合

CD1/信号入力 ボタンを押します。

22ページを参照し、CD デッキ「1」にCD をセットし、再生に必要な準備をします。

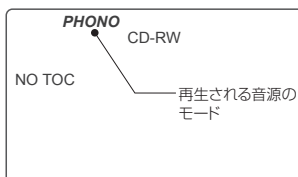
外部音源の場合

CD1/信号入力 ボタンを押します。

26 ページを参照し、本体上部の信号入力端子に外部機器を接続し、再生に必要な準備をします。

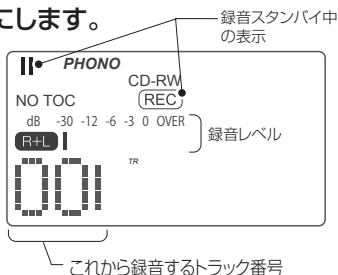
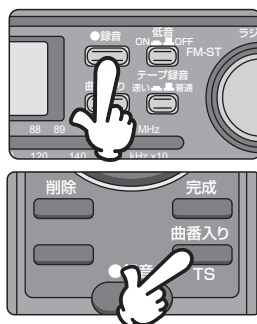
●LED ディスプレイの表示を確認します。

LED ディスプレイの表示が各録音元の音源になっていること、また、「CD-R」または「CD-RW」の文字と「NO TOC」（録音可能であることを示します）の文字が消えていないことを確認してください。（右図はレコードモードの例）



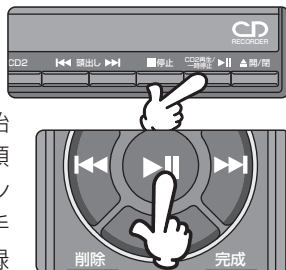
5 ●録音 ボタンを押して録音スタンバイ状態にします。

本体上部、またはリモコンにある●録音 ボタンを押すと録音スタンバイ状態になります。この状態ではまだ録音は始まっていません。



6 再生/一時停止 CD2 ボタンを押して録音を開始します。

本体下部、またはリモコンの再生/一時停止 CD2 ボタンを押すと録音が始まります。カウンターが表示され、動き始めたことを確認して7の手順を実行してください。（カウンターが動き始める前に7の手順を実行すると、先頭部分が録音されない場合があります。）



7 録音元の音源を再生します。

レコードの再生→17 ページ参照
カセットテープの再生→19 ページ参照
CD の再生→22 ページ参照
外部音源の再生→26 ページ参照

適切なタイミングで **TS曲番入り** ボタンを押して曲と曲の間にトラックスペースを挿入します。(必要な場合)
→32 ページ参照

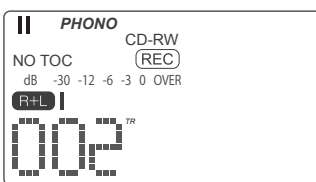
リモコンの **録音音量+** **録音音量-** ボタンで録音レベルの調整をします。
※録音元の音源の音量が小さすぎる、大きすぎると感じた場合のみ調整してください。

8 録音元のメディアを交換して録音を続ける場合は **▶▶ 再生/一時停止 CD2** ボタンで一時停止し、メディアを交換して録音を再開します。 (録音を終了する場合は **9** の手順へ)

○レコードやカセットテープの A 面に続けて B 面を録音する

○数枚のレコードやテープ、CD を続けて録音する場合、一回目の再生終了後、本体下部またはリモコンの **▶▶ 再生/一時停止 CD2** ボタンを押して録音を一時停止します。メディアを取り替え、再び **▶▶ 再生/一時停止 CD2** ボタンを押して録音を再開し、再生します。(**6** ~ **7** の手順参照)

録音を一時停止または停止するとそれまでの録音内容が一つのトラックとして区切られます。(次の録音には新しいトラック番号が割り振られます。)
さらに続けて録音する場合はこの操作を繰り返します。



次に録音するトラック番号

●種類の異なるメディアを続けて録音する場合

レコードの後に CD を続けて録音したいなど、種類の異なるメディアを続けて録音する場合、一回の再生終了後に **■ 停止 CD2** ボタンで録音を一回終了します。LED ディスプレイの画面表示が **4** の状態に戻りますので、次に録音したい音源のモードボタンを押し、**5** の手順から録音を再開してください。
(一時停止した状態ではモードの変更はできません)

9

■ 停止 CD2

ボタンを押して録音を終了します。

終了後も、完成処理をするまでは追加録音を行うことができます。

LED ディスプレイの表示は通常のレコードモードに戻ります。

PHONO
CD-RW
NO TOC

録音内容を確認する場合は、**CD2** ボタンを押して CD2 モードにします。
24 ページを参照して再生操作をしてください。

CD-RW の場合は録音トラックを削除できます。
→34 ページ参照

CD デッキ 1 や他の CD プレーヤーで再生できるようにするためには完成処理をします。完成処理後は追加録音できません。

※完成処理していない CD は、本製品の CD デッキ2でのみ再生が可能です。

→33 ページ参照

CD-RW の場合のみ、完成処理を解除できます。
→35 ページ参照

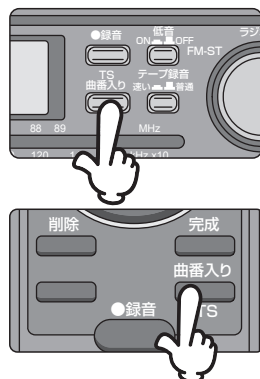
録音終了

曲と曲の間にスペースを挿入する

本製品では録音中、自動では曲ごとの切れ目（トラックスペース）が入らず、一回の録音で一つのトラックとして記録されます。トラックが区切られていないと、CD 再生時に頭出しやプログラム再生などを行うことができません。

録音途中にトラックスペースを挿入するには、適切なタイミングで本体上部またはリモコンの **(TS曲番入り)** ボタンを押します。

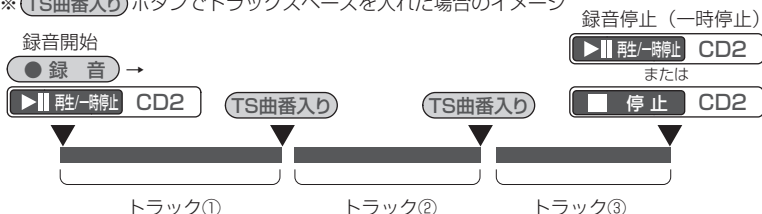
※録音元音源の無音部分が短い場合、曲の先頭が録音されない場合があります。その場合は下記の「録音を一時停止（停止）して再開した場合」の方法を試すか、トラックスペースを挿入しないでください。



※トラックスペースを入れない場合のイメージ



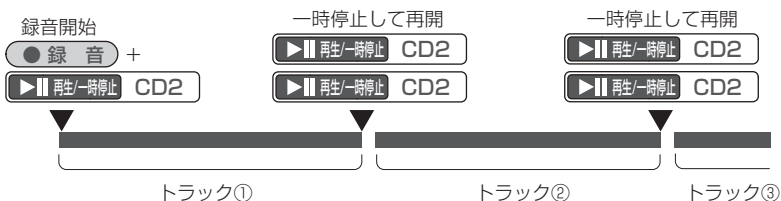
※ **(TS曲番入り)** ボタンでトラックスペースを入れた場合のイメージ



●録音を一時停止（停止）して再開した場合

(再生/一時停止 CD2) ボタンを押して録音を一時停止し再開した場合、または **(停止 CD2)** ボタンを押して録音を終了し、再度録音を開始した場合でもトラックスペースが挿入され、CD 内に複数のトラックを記録することができます。

※録音を一時停止（停止）して再開した場合のイメージ



完成処理(ファイナライズ)をする

録音を行った CD-R や CD-RW は、完成処理（ファイナライズ）をすることによって、他の CD プレイヤーや本製品の CD デッキ「1」で再生できるようになります。

完成処理前の CD-R/RW は、本製品の CD デッキ「2」でのみ再生可能です。

完成処理後は追加録音ができなくなります。ただし、CD-RW の場合のみ完成処理を解除することができます。（次ページ参照）

完成処理は CD デッキ「2」でのみ行えます。

完成処理を行うには下記の手順を実行します。

1 電源を ON にし、**CD2** ボタンを押して CD2モードにします。

完成処理をする CD-R/RW をトレイにセットします。

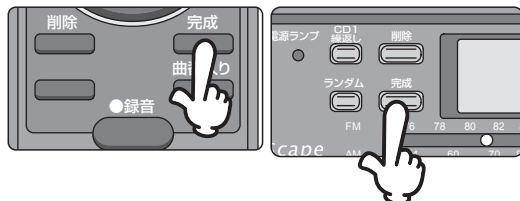
24 ページの手順を参照してください。

※すでに CD-R/RW がトレイにセットされている場合は CD2 モードになっていることを確認してください。

※録音が一時停止中の場合はモードの変更ができません。**■ 停止 CD2** ボタンで録音を終了してから CD2 モードに変更してください。

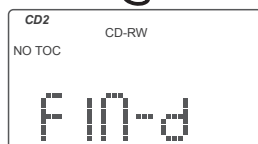
2 **完 成** ボタンを押します。

本体上部またはリモコンの **完 成** ボタンを押すと完成処理がスタンバイされます。この状態ではまだ処理は始まっていません。



LED ディスプレイの表示が右のように変わったことを確認してください。

スタンバイ状態をキャンセルするには **■ 停止 CD2** ボタンを押します。



3 **再生/一時停止 CD2** ボタンを押して完成処理を実行します。

完成処理が終了すると、自動的にトレイが開きます。

完成処理が開始されると LED ディスプレイが「busy」表示になります。

完成処理開始後はキャンセルできません。他のボタン操作や電源の操作は絶対に行わないでください。

完成処理には2～3分かかります。完成処理が成功すると、トレイが自動的に開きます。



録音したトラックを削除する(CD-RW のみ)

録音を行った CD-RW の録音トラックを削除することができます。

削除したトラックは元に戻せませんのでご注意ください。

※CD-R に録音したトラックは削除できません。

1 電源を ON にし、**CD2** ボタンを押して CD2モードにします。

録音トラックを削除する CD-R/RW をトレイにセットします。

24 ページの手順を参照してください。

※すでに CD-R/RW がトレイにセットされている場合は CD2 モードになっていることを確認してください。

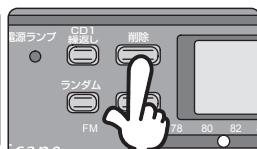
※録音が一時停止中の場合はモードの変更ができません。**■ 停止 CD2** ボタンで録音を終了してから CD2 モードに変更してください。

2 **削除** ボタンを押します。

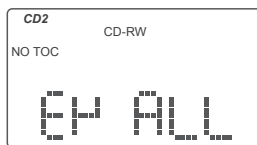
本体上部またはリモコンの **削除** ボタンを押すと最後に録音された一曲のみを削除する表示になります。もう一度 **削除** ボタンを押すと CD-RW 内の全曲を削除する表示になります。

この状態ではまだ削除は実行されていません。

スタンバイ状態をキャンセルするには **■ 停止 CD2** ボタンを押します。LED ディスプレイの表示が右のようになっていることを確認してください。



▲最後に録音された一曲削除の表示
(例は5曲目)



▲全曲削除の表示

3 **再生/一時停止 CD2** ボタンを押して削除を実行します。

削除が開始されると LED ディスプレイが「busy」表示になります。

削除開始後はキャンセルできません。他のボタン操作や電源の操作は絶対に行わないでください。

削除には十数秒～数分かかります (削除するトラック数、収録時間により異なります)。削除が成功すると、LED ディスプレイの表示が通常 (トラック数、収録時間の表示) に戻ります。



完成処理(ファイナライズ)を解除する(CD-RW のみ)

完成処理を行った CD-RW の完成処理を解除することができます。

※CD-R に行った完成処理は解除できません。

- 1 電源を ON にし、**CD2** ボタンを押して CD2モードにします。
完成処理を解除する CD-R/RW をトレイにセットします。

24 ページの手順を参照してください。

※すでに CD-R/RW がトレイにセットされている場合は CD2 モードになっていることを確認してください。

※録音が一時的停止中の場合はモードの変更ができません。**■ 停止 CD2** ボタンで録音を終了してから CD2 モードに変更してください。

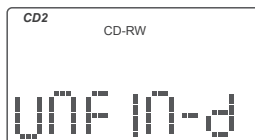
- 2 **削除** ボタンを押します。

本体上部またはリモコンの **削除** ボタンを押すと完成処理の解除がスタンバイされます。この状態ではまだ処理は始まっていません。



LED ディスプレイの表示が右のように変わったことを確認してください。

スタンバイ状態をキャンセルするには **■ 停止 CD2** ボタンを押します。



- 3 **再生/一時停止 CD2** ボタンを押して完成処理の解除を実行します。
完成処理が終了すると、自動的にトレイが開きます。

完成処理の解除が開始されると LED ディスプレイが「busy」表示になります。

処理開始後はキャンセルできません。他のボタン操作や電源の操作は絶対に行わないでください。

完成処理の解除には2～3分かかります。完成処理解除が成功すると、LED ディスプレイの表示が通常（トラック数、収録時間の表示）に戻ります。



7-2. カセットテープに録音する

本製品では、レコード、CD（デッキ1）、カセットテープ、外部機器、ラジオからの音源をカセットテープデッキ1にセットされたカセットテープに録音することができます。

録音を開始する前に「使用上のご注意」をよくお読みになり、ご理解になった上で本製品を操作してください。また、録音元の音源の操作については、「6. 使用方法その1（再生編）」の説明をお読みください。

レコード、CD、ラジオ、外部音源からカセットテープに録音する

1 電源を ON にし、録音元の音源のモードに切り替え、再生する準備をします。

レコードの場合

レコード ボタンを押します。

17ページを参照し、レコードをターンテーブルにのせ、レコード再生に必要な準備をします。

ラジオの場合

AM/FM ボタンを押します。

16 ページを参照し、ラジオ放送を受信してください。

CDの場合

CD1/信号入力 ボタンを押します。

22ページを参照し、CD デッキ（「1」を推奨します）に CD をセットし、再生に必要な準備をします。

外部音源の場合

CD1/信号入力 ボタンを押します。

26 ページを参照し、本体上部の信号入力端子に外部機器を接続し、再生に必要な準備をします。

2 カセットテープをカセットテープデッキ「1」にセットします。

停止/取出し テープ1 ボタンを押してカバーを開け、録音したい面を手前に向け、テープが露出している側を下にしてセットします。

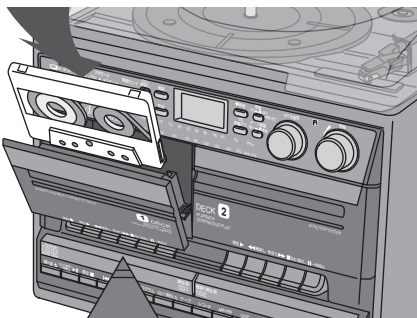
その後、カバーを手で押して元に戻してください。

※カセットテープモードに切り替えずに操作してください。

※録音可能なカセットテープか確認してください。

※あらかじめリーダーテープ部分を巻き取ってからセットしてください。

※ **1** と **2** の手順はどちらが先でもかまいません。



3

一時停止 テープ1

ボタンを押して

録音 ●

テープ1

ボタン押し、

録音をスタンバイします。

録音 ●

テープ1

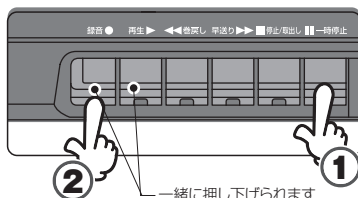
ボタンを押すと、自動的に

再生 ▶

テープ1

ボタンも押し下げられます。

※録音はまだ開始されていません。



4

録音元の音源を再生し、一時停止 テープ1 ボタンを押して録音を開始します。

レコードの再生→17 ページ参照

ラジオの受信→16 ページ参照

CD の再生→22 ページ参照

外部音源の再生→26 ページ参照



5

録音を終了するには 停止/取出し テープ1 ボタンを押します。

メディアを交換して録音を続ける場合はメディアを交換し、必要であればモードを切り替え、

3

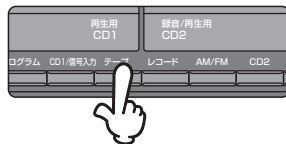
の手順から録音を繰り返し実行します。

録音した内容を確認するには テープ ボタンを押してカセットテープモードにし、巻き戻しを行ってから再生してください。(20 ページ参照)

カセットテープからカセットテープに録音する(ダビング)

1 電源を ON にし、 **テープ** ボタンを押してカセットテープモードにします。

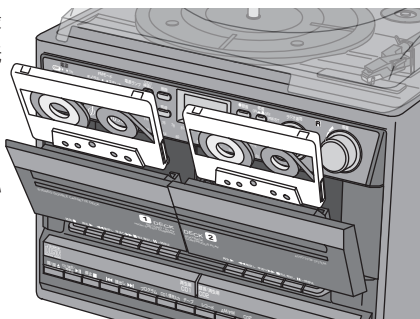
LED ディスプレイに「TAPE」と表示されているのを確認してください。



2 録音元、録音先のカセットテープをそれぞれのデッキにセットします。

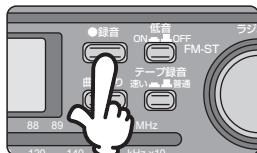
両デッキの **停止/取出し** ボタンでカバーを開け、録音元のカセットテープを「デッキ2」に、録音先のカセットテープを「デッキ1」にセットします。カセットテープは、再生したい面を手前に向け、テープが露出している側を下にしてセットします。※あらかじめリーダーテープ部分を巻き取ってからセットしてください。

※ **1** と **2** の手順はどちらが先でもかまいません。



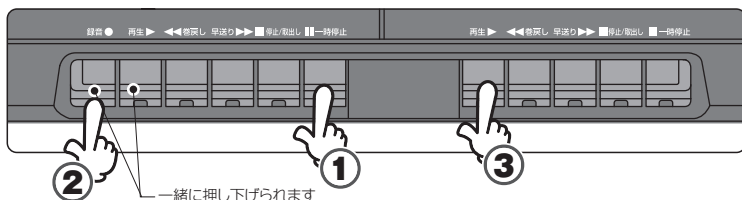
●高速ダビングについて

3 の手順を行う前に本体上部の **テープ録音** ボタンを押して「高速」にしておくと、カセットテープのダビングを高速で行うことができます。通常速度で再生音声を聞きながらダビングしたい場合は「普通」にしてください。ダビング中に **テープ録音** ボタンの操作は行わないでください。正常に録音できず、誤動作や故障の原因となります。



3 **一時停止** **テープ1** ボタン **録音** **テープ1** ボタン **再生** **テープ2** ボタンの順で操作すると録音が始まります。

再生 **テープ2** ボタンを押すと、自動的に「デッキ1」の一時停止が解除され、録音が始まります。



4 両デッキの **停止/取出し** ボタンを押してダビングを終了します。

8 トラブルシューティング

状 態	推測される原因と対策
●電源が入らない	○電源プラグがコンセントに正しく接続されているかご確認ください。
●スピーカーから音が出ない	○スピーカーが「外部スピーカー端子」に接続されているかご確認ください。「外部出力」端子に接続されている場合、音が出ません。 ○ヘッドフォン端子に機器が接続されていないかご確認ください。ヘッドフォン端子に機器が接続されている場合、スピーカーから音が出ません。(14 ページ参照) ○音量が「0」になっていないかご確認ください。
●レコードプレーヤーのターンテーブルが回転しない	○「レコード」モードになっているかご確認ください。(17 ページ参照) ○「自動停止スイッチ」が ON の場合、トーンアームを動かさないとターンテーブルは回転しません。(17 ページ参照)
●CDが操作できない	○CD をセットした側のデッキのモードになっているかご確認ください。左側は「CD1/AUX」、右側は「CD2」モードにします。それぞれのモードになっていないとそのデッキの操作ができません。
●CD-R/RWに録音できない	○セットした CD-R/RW に完成処理がされている場合、録音できません。画面に「NO TOC」の表示が出ていない場合は録音できません。(28 ページの「3」の手順参照) CD-RW のみ完成処理を解除できます。(35 ページ参照) ○CD-R/RW の録音時間がいっぱいになっていないか確認してください。通常、CD-R/RW の録音時間は 74 ～ 80 分です。(CD-R/RW に空きがない場合、LED ディスプレイに「FULL」の文字が表示されます。) ○音楽用 CD-R/RW を使用しているかご確認ください。 ○録音元が音楽 CD で、「CCCD」(コピーコントロール CD) の場合、本製品で録音できない場合がございます。ご了承ください。 ○メーカーやロット、CD-R/RW の状態によっては、正しい手順で行っても録音に失敗することがございます。新しいメディアに交換して再度お試しください。
●CDが再生できない	○音楽 CD 以外の CD は再生できません。音楽 CD でも、データトラックのある CD は再生できない場合がございます。 ○録音後、完成処理されていない CD-R/RW は CD デッキ 1 では再生できません。 ○CD がトレーに正しくセットされているかご確認ください。(23、24 ページ参照)
●カセットテープが再生できない	○「カセットテープ」モードになっているかご確認ください。(20 ページ参照)
●カセットテープに録音できない	○カセットテープ底面のツメが折れていないか確認してください。(19 ページ参照)
●ラジオが受信できない／ノイズが入る	○FM ラジオアンテナが適切に張られているかご確認ください。 ○お聴きになりたいバンド(AM/FM)になっているか、周波数が合っているかご確認ください。 ○本体の設置場所、向きを変えると受信感度が良くなる場合がございます。 ○高層ビルの中など、設置環境により、ラジオ放送の受信がうまくできない場合がございます。
●リモコンで操作できない	○リモコンでは、CD 操作のみ可能です。カセットテープや電源の操作はできません。 ○電池が正しくセットされているか、消耗していないかご確認ください。 ○本体に向けてボタン操作しているか、離れすぎしていないかご確認ください。リモコンの有効範囲は最大約 7m です。

うまく動作しないときは、まず上記の項目をチェックしてください。該当する項目がない場合、または対策を試しても直らない場合は、サポートセンターにご相談ください。

9 メンテナンス

●お手入れについて

本製品の外装部は、乾いた布で埃や汚れを拭き取ってください。また、分解や塗装はしないでください。

CD部のレンズやカセットテープのヘッドや走行部は、市販のクリーニングキット、クリーニングディスク、クリーニングカセット等をご使用になり定期的に清掃を行ってください。

●長時間使用しない場合は

電源プラグをコンセントから抜き、必ず電池を取り出してからビニール袋等を掛け、高温になる場所や湿気、埃の多い場所を避けて保管してください。

●廃棄する場合は

本製品はプラスチック、電子部品、金属を使用しています。廃棄やリサイクルの際はお住まいの地域の自治体の規定に従って正しく処理してください。

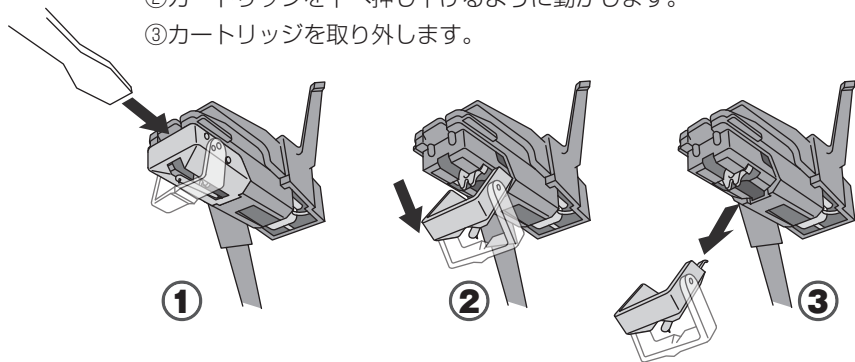
レコードの針(カートリッジ)の交換方法

レコード針は消耗品です。音質の低下を感じた場合は早めにカートリッジを交換してください。交換針のお求めについては販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。

レコード針（カートリッジ）の交換の際は、針を指に刺さないよう、保護カバーをセットしたまま作業してください。

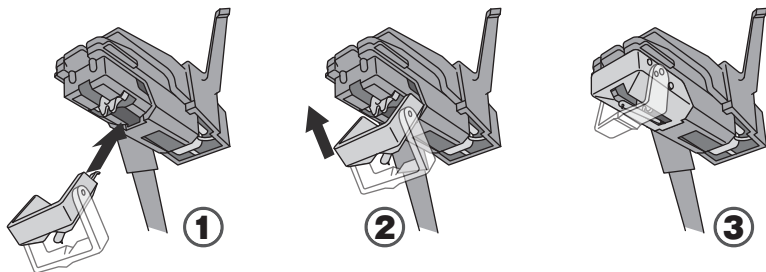
●針（カートリッジ）の外し方

- ①細めのマイナスドライバーなどを、カートリッジ（赤い部分）とトーンアーム本体の隙間にやさしく差し込みます。
- ②カートリッジを下へ押し下げるように動かします。
- ③カートリッジを取り外します。



●針（カートリッジ）の取り付け方

- ①カートリッジの後部の突起部分を、トーンアーム本体の溝（図参照）へ差し込みます。
- ②上へはめ込みます。
- ③図と見比べて、しっかりカートリッジが取り付けられているか確認してください。



10 仕様表

電源		AC100V
消費電力		32W
CD プレーヤー	周波数特性	60Hz ～ 16kHz(±3dB)
	再生可能CD	AudioCD、AudioCD 形式で録音された CD-R/RW(音楽用)
	録音可能CD	CD-R/RW(音楽用)
	録音形式	AudioCD 形式(WAV 形式)、非圧縮
レコード プレーヤー	モーター	DC 方式
	駆動方式	ベルトドライブ
	回転数	33 1/3、45、78rpm
	針	サファイア
ラジオ	FM受信可能周波数帯域	76 ～ 108MHz
	AM受信可能周波数帯域	540 ～ 1600kHz
	周波数特性	100Hz ～ 4kHz
スピー カー	サイズ	100mm / 27mm
	スピーカー出力	8W × 2
	インピーダンス	4Ω
	出力端子	前面ヘッドフォン用：φ3.5mm ステレオミニジャック 背面外部機器用：ステレオ(L/R)RCA
寸 法		本 体 約 317(幅)×290(奥行き)×285(高さ)mm
		スピーカー 約 146(幅)×140(奥行き)×225(高さ)mm ×2
重 量		約 7.6Kg(本体約 5.6Kg、スピーカー約 1.0Kg×2)

※製品仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

11 アフターサービス

①保証書

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より1年間です。

②初期不良について

本体や付属品がはじめてから破損、または不足している場合は、購入日と購入店を証明できる書類をご用意のうえ、14日以内に販売店または下記サポートセンターまでご連絡ください。14日を過ぎるの交換依頼には応じられませんのでご了承ください。

③修理を依頼される時

※保証期間中は製品に保証書を添えてお買上げ販売店へご持参ください。保証規定の記載内容により、無料修理致します。

※保証期間経過後の修理は、修理すれば使用できる製品については有料で修理を承ります。

※保証期間内外に関わらず、当社に直接お送り頂く際の送料は、お客様負担とさせていただきます。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または下記サポートセンターにお問い合わせください。

お願い

一度ご使用になった製品は、返品をお受けすることができませんのであらかじめご了承下さい。

ただし、あきらかに不備、不良と認められた製品につきましては、代替品と交換する準備がございます。その他の責は一切、お受けすることができませんのであらかじめご了承下さい。

お取り扱い方法についてのご相談およびアフターサービスのご案内

サポートセンター
電話番号 **03-6803-0191**

受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00

（土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く）



製品保証書



持込修理

〈保証規定〉

このたびは、録音機能付マルチレコードプレーヤーをご購入頂きありがとうございます。当社ではアフターサービスを提供することを保証いたします。お客様の權益を保護するため、下記の文章をご覧ください。

①ご購入日から1年以内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と、保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店にお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で本体を修理、または新品と交換いたします。

②本体以外の付属品については、初期不良時の交換のみ無償対応いたします。（購入日より14日以内）

③本製品をネットオークション、またはそれに類する条件で入手した場合は製品保証の対象外となります。

④本製品を他者から譲り受けた場合、製品保証の対象者は購入者本人となります。当保証規定に基づく修理や初期不良交換の依頼は購入者本人（購入したことを証明し得る者）が行う必要があります。

⑤保証期間でも次のような場合には有料修理となります。

※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送等による故障または損傷。

※火災、地震、水害、落雷、その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。

※業務用としての使用、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。

※本書の提示がない場合。

※本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

⑥本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

●所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合はただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。

●太枠線内はご購入後、お客様自身がご記入ください。

●本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品名

録音機能付マルチレコードプレーヤー SS-801

保証期間（お買い上げ日より）

1年間

お買い上げ日

年

月

日

お客様様

フリガナ

お名前

様

ご住所

〒

—

電話番号（

）

—

取扱販売店名・住所・電話番号

販売元 株式会社TOHO

TOHOサポートセンター

Tel.03-6803-0191

受付時間：月～金 10:00～12:00 13:00～17:00
※土日、祝祭日はお休みを頂いております。